

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	千葉県匝瑳市
共同提案者名	匝瑳みらい株式会社、市民エネルギーちば株式会社、株式会社しおさい電力、株式会社富士テクニカルコーポレーション、学校法人千葉学園千葉商科大学、国立大学法人福島大学、匝瑳市植木組合、株式会社ETA Network Japan、株式会社エコグリーン、ポーツー油脂株式会社、千葉県大利根土地改良区、クレアトゥラ株式会社、株式会社EG Forest、株式会社カインズ、八日市場金融団、三菱UFJ信託銀行株式会社、特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所、匝瑳市商工会
選定回	第4回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	農業振興（稲作）、資源循環、収益の地域還元
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携、地元人材育成、地域間連携、
需要家・エリア設定	住宅街・住宅団地（市の中心エリア）
創出する再エネの種類・導入技術等	太陽光発電（営農型、垂直型）、熱利用、その他（クレジット化）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left( \frac{5.4718935}{1,718,400} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div 31,404,120 (\text{kWh/年}) = 5 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	2432件	14,592,000	72,000	0	129,600	0	201,600	0	117	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
民生・業務その他	オフィスビル	2件	534,128	0	0	0	0	0	0	0	
	商業施設	43件	14,188,367	1,219,200	0	0	0	1,219,200	0	706	
	宿泊施設							0			
	その他							0			
公共	公共施設	11件	2,089,625	297,600				297,600		172	
	その他							0			
合計			31,404,120	1,588,800	0	129,600	0	1,718,400	0	995	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	832	18						850

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
14%	29%	60%	100%	100%	100%

## 2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度（新規）		0	16,455,351	27,186,199	120,197,191	85,314,182	77,738,022	0	0
	単年度抑制（合計）		0	16,455,351	43,641,550	163,838,741	249,152,923	326,890,945	326,890,945	326,890,945
実績	単年度		0	31,167,096	4,247,208					
	累計		0	31,167,096	35,414,304					

## 2-2.個別KPIの進捗状況

■指標：ソーラーシェアリングによる匝瑳市の交流人口の数（人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	10,000	10,000
	累計		0	2,000	6,000	12,000	20,000	30,000	40,000	50,000
実績	単年度		0	3,825	2,686					
	累計		0	3,825	6,511					

■指標：ソーラーシェアリング事業、メタンガス等のクレジット収入の導入後による農業経営における収益の増加（1ha当たりの収益(円)）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	0	0	180	180	180	180
	累計		0	0	0	0	180	360	540	720
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

■指標：植木業者由来の剪定枝等を地域のバイオマス資源として活用する量（t（トン））

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	50	100	150	200	300	300	300
	累計		0	50	150	300	500	800	1100	1400
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

実績詳細	<p>交流人口については、視察人数、イベント来場者等を集計。 植木剪定枝を活用したバイオ炭製造に係る設備製造事業者が倒産した関係で、総務省に協議し一部2カ年事業とした。</p>
------	--

## 3.横展開の可能性について

### 自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

ソーラーシェアリングアカデミー事業の中で、横展開に向けた取組を行なっている。

#### ●自治体外への横展開

##### ○自治体間連携

令和7年5月に熊本県球磨村、7月に東京都千代田区と新たに締結を行なった。球磨村については、ソーラーシェアリングを導入や、地域脱炭素を進めるに当たっての課題・ノウハウの共有を行なっている。さらに、球磨村役場、球磨村森電力にも匝瑳市に足を運んでご視察をいただき、球磨村及び球磨村森電力が関わられているあさぎり町におけるソーラーシェアリングについて、細型パネルでの取組を行なっていくことで調整をされている状況。

東京都千代田区については、区内施設へのソーラーシェアリングからの電力供給に加え、都市農村交流として匝瑳市ツアーや給食・区役所カフェへのソーラーシェアリング下の作物を活用した飲食料の供給を行なっている。

地域間連携を行っていない自治体についても、視察の受け入れやヒアリングの対応を行なっている。

また、市内のソーラーシェアリング事業者であるTERRAについては、市外における展開も具体的に行なっており、今年度についても、茨城県東茨城郡城里町（DC：67.2kW、AC：49.5kW）や沖縄県糸満市（DC：48.3kW、AC：44.0kW（現在建設中、年内完工予定））といった案件を手がけ、ソーラーシェアリングの全国的な普及を行なっている。

#### ●市内の先行地域外への横展開

##### ○先行地域外でのソーラーシェアリングの取組拡大

江戸川区との連携の中で、市内でソーラーシェアリングやため池太陽光等を建設する取組を行なっている。実際に、令和6年12月には、江戸川区立松江第一中学校に電力供給を行なうためのソーラーシェアリングを建設し、市内地域新電力であるしおさい電力が電力供給を行なう形で、供給がスタートしている。今後も随時再エネ開発を行なって行く予定。

##### ○普及啓発

市内中学・高校での授業も行なっており、市内全中学校での講義の実施や、県立匝瑳高校における授業及びソーラーシェアリング見学も行なっている。また、地域脱炭素について市内住民に知っていただくべく、イベントを開催している。脱炭素マジックのステージショーや太陽光・ソーラーシェアリング、省エネ機器に関するブース出展、ワークショップ等を実施したが、今回農業祭りの併催を行ない、市の主要産業である農業と脱炭素のつながりをアピールした。

## 4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

市の最上位計画である「匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和7年3月策定）」では、基本目標の一つである「2 ～そうさ!!匝瑳で暮らそう～匝瑳市への定住を促進する」において、「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、環境省事業「脱炭素先行地域」にも選定されていることから、本市の魅力の一つである豊かな自然環境の保全のため、脱炭素化の取組を軸として環境負荷の軽減や循環型社会の形成に努め」ることが明記されている。令和7年11月に表明した「オーガニックビレッジ宣言」においても、脱炭素先行地域として豊かな自然環境の保全のため、脱炭素化の取組を進めるとともに、有機農業の取組を地域ぐるみで取り組んで行くことを表明している。令和7年1月の地域脱炭素フォーラムの市長発表における脱炭素先行地域の実現は、匝瑳市を持続可能な地域にしていく、いわば生き残りの一つの手段とらえているという発言にあるとおり、市の主要産業としての農業を持続可能にし、住み続けられる市とするための戦略として位置づけている。